

あらゆる現場で 優れた施工性、耐久性、安全性を発揮します。

従来の推進工法は、推進管を直押しする方法のため、使用できる推進管は、剛性管に限定され、耐荷力の小さい塩ビ管の使用は難しいものでありました。
しかし、塩ビ管の優れた特性とこれまでの開削工事の実績から、推進管に塩ビ管の使用を期待するユーザが増加し、今日では様々な低耐荷力塩ビ管推進方式が開発されました。
この方式に使用していただく塩ビ推進管として、株式会社ヴァンテックでは、(公社)日本下水道協会の規格品である推進抵抗の小さいスパイラル管(SSPS)とSUSカラー管(SUSR)をご用意し、現在各地のあらゆるケースでご使用いただいております。

■推進管の種類と適用地盤

品名	管種	適用土質	N値
スパイラル継手付推進管	VP・VM	砂質土、シルト系砂・粘性土、粘土、滞水砂層、細砂等	30以下
SUSカラー付直管			

■推進管の許容耐荷力

呼び径	許容耐荷力
	VP・VM
150	6.3
200	11.3
250	20.8
300	32.8
350	35.4
400	48.5
450	64.1

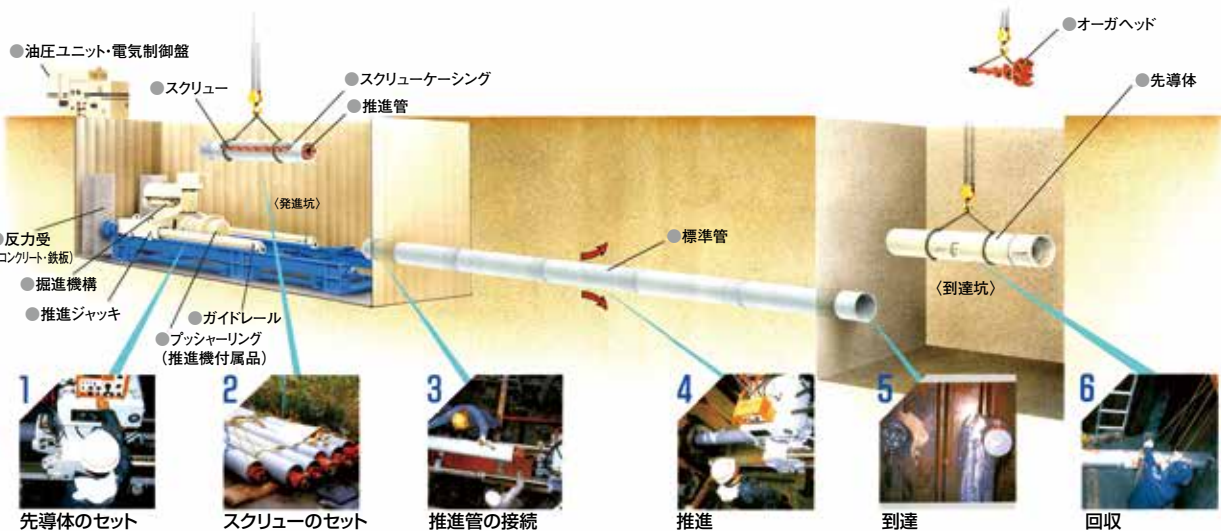
注) 管の推進は、塩ビ管に掛かる荷重が確認できる推進機械を使用し、常に許容耐荷力以下であることを確認しながら行ってください。

■推進管の性能

試験の種類	性 能		
引張試験	呼び径	47N/mm ² [480kgf/cm ²]以上	
		圧縮量(mm)	線荷重(kN/m [kgf/m])
偏平試験		VP・VM	VP・VM
	150	4	9.61 [980]以上
	200	6	9.81 [1000]以上
	250	8	12.94 [1320]以上
	300	9	14.51 [1480]以上
	350	15	12.65 [1290]以上
	400	17	14.32 [1460]以上
	450	19	15.89 [1620]以上
圧縮試験	6.47kN/cm ² [660kgf/cm ²]以上		
負圧試験	0.078Mpa [0.8kgf/cm ²]の負圧に耐えること		
浸漬試験	各試験液とも ±0.2mg/cm ² 以下		
ピカット軟化温度試験	76℃以上		

注) 引張強さは、試験時温度を20℃に補正した値を示す。

低耐荷力塩ビ管推進方式



スパイラル継手付推進管の接合



1. 受口内面及び差口外面をウエス等で拭き、土砂・油・水分などを取ります。
2. 接合剤は、差口部の溝に沿って全周に塗布してください。
3. 挿入は、差口部、受口部の管軸を合わせて、締め終わりまで一気に回し接合してください(管端は軽く当たったら回転をとめてください)。
4. はみ出した接合剤は、ウエスで拭きとってください。

運 搬

塩ビ推進管は、軽量で取扱いが容易ですが、積み降ろしに際しては管を放り投げたり衝撃を与えないでください。小運搬のときは管を滑らせたり引きずらないでください。特に、肩に担いで運搬し、管を降ろすときは肩から滑り落とさないようにしてください。荷台に管を積み込む場合は、ロープなどで適切に固定し、荷台の角に直接あたらないようにクッション材で保護してください。

取扱いについての、警告と注意

⚠ 警 告 残材・廃材の現場焼却禁止

塩ビ管・継手の廃材や残材は、現場焼却しないでください。塩ビ管・継手は、燃やすと有害な塩化水素ガスが発生し、とても危険です。絶対に燃やさないでください。

⚠ 注 意 他用途への使用禁止

塩ビ管・継手には、各種の規格があり、水道用、下水道用などの用途が決められています。規格は強度・使用条件などから決められたものです。その他の用途に使用すると強度不足により破壊事故などの原因となります。

⚠ 警 告 荷扱い時の事故防止

塩ビ管の大口径管、また小口径管も結束単位によっては重くなります。荷くずれや管上からの転落などによる事故防止のため、荷扱いには十分ご注意ください。

⚠ 注 意 接着剤の保管、取扱いに注意

接着剤は引火しやすいため、消防法の危険物に該当します。保管にあたっては、法令および市町村条例を守ってください。また、有機溶剤が含まれていますので、使用時は換気と火気に十分注意して、それぞれの取扱い説明にそって作業を行ってください。

株式会社 ヴァンテック ホームページ <https://www.van-tecs.com/>

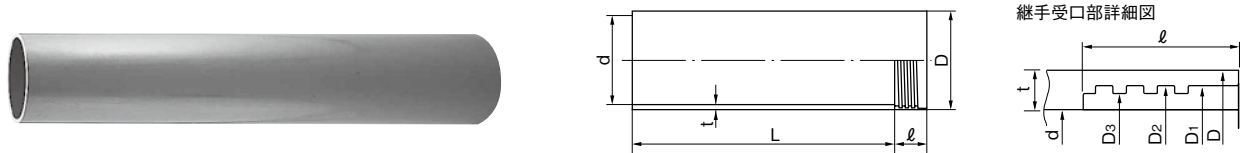
本 社 〒153-8512 東京都目黒区大橋1丁目6番3号 日米商会ビル2F

札幌営業所 〒067-0052 北海道江別市角山71番地1号
仙台営業所 〒980-0811 仙台市青葉区一番町2丁目7番12号 南町通MKビル6F
東京営業所 〒153-8512 東京都目黒区大橋1丁目6番3号 日米商会ビル2F
名古屋営業所 〒460-0003 名古屋市中区錦1丁目7番32号 名古屋Sビル8F
大阪営業所 〒540-0036 大阪市中央区船越町2丁目4番6号 船越センタービル3F
九州営業所 〒812-0038 福岡市博多区祇園町2番1号 シティ17ビル8F
業務センター 〒153-8512 東京都目黒区大橋1丁目6番3号 日米商会ビル2F

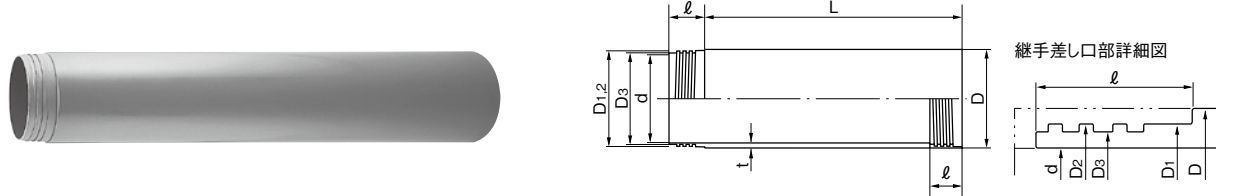
TEL 011(391)4910 FAX 03(6870)5561
TEL 022(227)1241 FAX 03(6870)5562
TEL 03(3496)1313 FAX 03(3496)2706
TEL 052(201)3191 FAX 03(6870)5563
TEL 06(7711)2300 FAX 03(6870)5564
TEL 092(282)0707 FAX 03(6870)5565
TEL 03(3496)1313

*印刷のため製品の色調は実物とは異なる場合があります。
*改良のため予告なく仕様変更する場合があります。

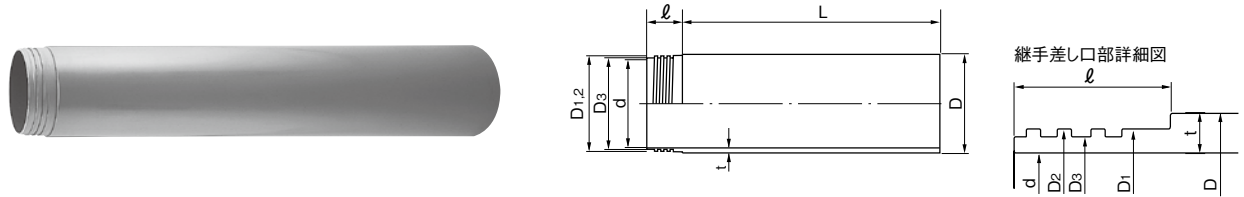
接着形式パイラル継手付直管先頭管<SSPH-G(VP)>
<SSPH-G(VM)>



接着形式パイラル継手付直管標準管<SSPS-G(VP)>
<SSPS-G(VM)>



接着形式パイラル継手付直管最終管<SSPE-G(VP)>
<SSPE-G(VM)>

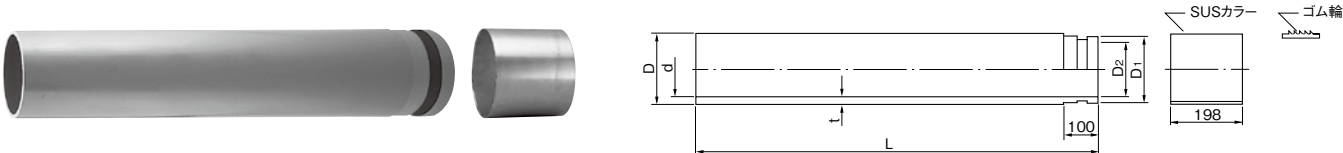


スパイラル継手付推進管 共通寸法

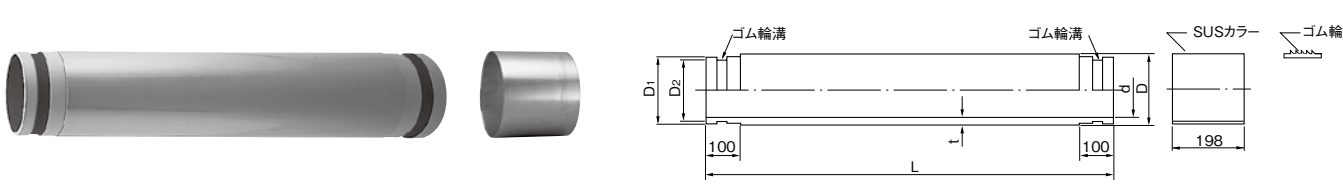
単位：mm										
呼び径	D	D ₁	D ₂	D ₃	d	ℓ	t	L	規 格	受注生産品
VP150	受口部	165	158.4	158.4	154.2	146	64	8.9	800 又は 1000	●
	差し口部	165	157.8	157.4	153.2	146	65	8.9		●
VP200	受口部	216	208.2	208.2	203.2	194	64	10.9		●
	差し口部	216	207.6	207.2	202.2	194	65	10.9		●
VP250	受口部	267	258.6	258.6	251.4	240	64	12.7		●
	差し口部	267	257.8	257.4	250.2	240	65	12.7		●
VP300	受口部	318	307.8	307.8	299.4	286	64	15.1		●
	差し口部	318	307	306.6	298.2	286	65	15.1		●
VM350	受口部	370	362.5	362.4	353.8	339	79	14.3		●
	差し口部	370	361.5	361	352.4	339	80	14.3		●
VM400	受口部	420	411.6	411.5	401.9	385	79	16.2		●
	差し口部	420	410.6	410.1	400.5	385	80	16.2		●
VM450	受口部	470	460.5	460.4	449.8	431	79	18.1		●
	差し口部	470	459.5	459	448.4	431	80	18.1		●

備考：1. ●は日本下水道協会規格品（JSWAS K-6）です。
2. D、D₁、D₂、D₃は、任意箇所における相互に等間隔な2方向以上の直径測定値の平均値又は円周測定値を円周率3.14で除いた値です。
3. 先頭管とは、先導管に接続する管で、最終管とは、推進時の最後に使用する管です。又、標準管とは、その間の推進時に使用する管です。
4. ○は受注生産品です。

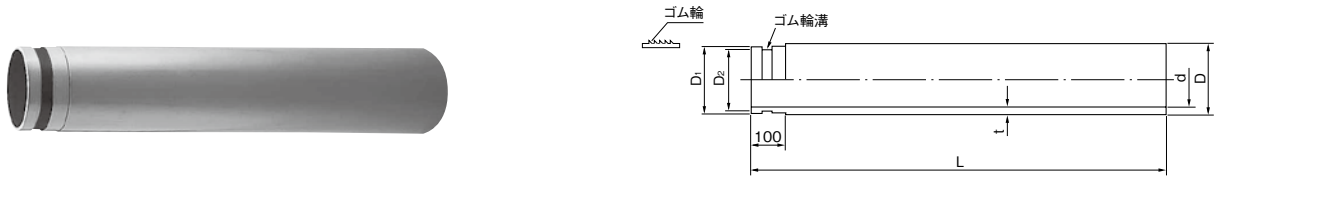
ゴム輪形SUSカラー付直管先頭管<SUSR(VP)>
<SUSR(VM)>



ゴム輪形SUSカラー付直管標準管(ゴム2ヶ付)<SUSR(VP)>
<SUSR(VM)>



ゴム輪形SUSカラー付直管最終管<SUSR(VP)>
<SUSR(VM)>



SUSカラー付推進管 共通寸法

呼び径	D	D ₁	D ₂	d	t	L	規 格	受注 生産品
VP150	165	160	154	146	8.9	1000	●	
VP200	216	211	205	194	10.9		●	
VP250	267	262	256	240	12.7		●	○
VP300	318	313	307	286	15.1		●	○
VM350	370	365	359	339	14.3		●	○
VM400	420	415	409	385	16.2		●	○
VM450	470	465	459	431	18.1		●	○

備考：1 ●は日本下水道協会規格品（JISWAS K-6）です。

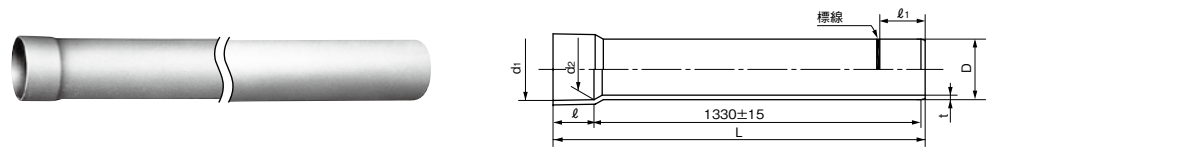
2 ○は受注生産品です。

3 D、D₁、D₂ は、任意箇所における相互に等間隔な 2 方向以上の直径測定値の平均値又は円周測定値を円周率 3.14 で除いた値です。

4 差し口先端部は、糸面取りです。

備考：1. ●は日本下水道協会規格品（JSWAS K-6）です。
2. ○は受注生産品です。
3. D、D₁、D₂は、任意箇所における相互に等間隔な2方向以上の直径測定値の平均値又は円周測定値を円周率3.14で除いた値です。
4. 差し口先端部は、糸面取りです。

接着受口 片受短管<K-ST>

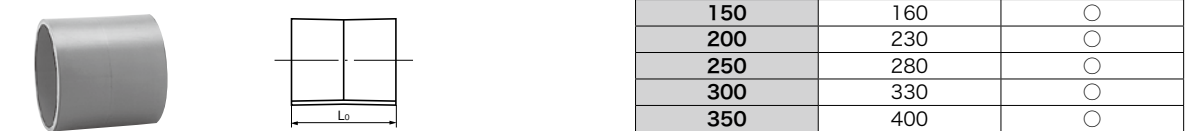


単位：mm												
呼び径	D	t	ℓ ₁	d ₁	d ₂	ℓ	L		規 格・品 番		受注生産品	
							1m	1.33m	1m	1.33m		
100	114	3.1	55	114.8	113.2	50	1055	—	● 1215701	—		
150	165	5.1	85	166.1	163.9	80	1085	1415	● 1215703	● 1215713		
200	216	6.5	125	217.4	214.6	115	1125	1455	● 1215704	● 1215714		
250	267	7.8	150	268.6	265.4	140	—	1480	—	—	○	○
300	318	9.2	175	319.8	316.2	165	—	1505	—	—	○	○
350	370	10.5	222	372.0	368.7	200	—	1530	—	—	○	○
400	420	11.8	245	422.3	418.4	220	—	1550	—	—	○	○
450	470	13.2	278	472.6	468.1	250	—	1580	—	—	○	○

備考：1. 自社規格品です。
2. ●は日本下水道協会規格品（JSWAS K-1）です。
3. ○は受注生産品です。

下水道推進工法用硬質塩化ビニル管 関連継手・接合剤

接着受口カラー<WTA>



単位：mm		
呼び径	L ₀	受注生産品
150	160	○
200	230	○
250	280	○
300	330	○
350	400	○
400	440	○
450	500	○

備考：全て積水化学工業（株）製の商品です。

スパイラル継手付推進管専用接合剤<KB-T>



品名	容量	色	主成分
ヴァンテックボンド KB-T カートリッジ入り	400g	水色	変成シリコン

接合剤塗布量

呼び径 (mm)	150	200	250	300	350	400	450
使用量 (g)	60	80	100	130	190	220	260

※スパイラル継手付推進管の接合には必ず専用のものをお使いください。
※配管完了後は、接着剤の溶剤蒸気を除去するため必ず通風してください。消防法第2条に記載されている危険物第4類第1石油類に該当し、200kg以上を取扱う時は危険物取締りの対象になります。また、この指定数量未満であっても都市によっては火災予防条例の規定を受けますのでご注意ください。